

Title	キリスト者の福澤論
Sub Title	
Author	會田, 倉吉(Aida, Kurakichi)
Publisher	三田史学会
Publication year	1954
Jtitle	史学 Vol.27, No.2/3 (1954. 5) ,p.388(486)- 388(486)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑報 慶應義塾史研究特輯
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19540500-0388

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

雜 報

キリスト者の福澤論

福澤諭吉は生來、宗教には至つて淡泊であつた。けれども、その經世的効用に對しては常に充分深い關心をもつていた。したがつて、個人としての信仰は別に、自ら社會の指導的地位にある立場から、しばしば宗教を論じている。なかでも、キリスト教については、はじめ國權擁護の目的で専ら外教防遏論を掲げながら、明治十七年以後急變して、むしろこれを積極的に受け入れる態度を示した。

このような福澤にむけられたキリスト教信者等の批判、福澤論といつたものは、從來福澤研究上比較的等閑視されていた傾きがないでもないようだが、やはり一應着目されるべきではあるまいか。その意味で、ここに、直接福澤を訪ねて信仰問題を論じ合つたこともあるというキリスト者の一人、植村正久の福澤を論じた諸稿の目録を紹介しておく。佐波亘編「植村正久と其の時代」第五卷（二三）敬字中村正直と福澤諭吉のうち「福澤諭吉」の項、九八五頁）に載つているものの引用である。

福澤諭吉氏

日本評論・明治二三年四月・第四號

(四八六) 三八八

- 福澤先生の諸行無常 同・明治二五年一月・第四七號
- 福澤翁の誇と立腹 福音新報・明治三〇年九月・第一一四號
- 三田先生の主義本領 同・同號
- 我國文明の開拓者 同・明治三一年一月・第一二五號
- 福澤諭吉氏 同・明治三一年一〇月・第一七一號
- 福澤翁の人物 同・同年同月・第一七二號
- 福澤翁の品行家風 同・明治三二年一月・第一八六號
- 福澤翁の獨立心と潔癖 同・同年二月・第一八八號
- 福澤翁生涯の心願 同・同年同月・第一九一號
- 福澤先生の感化と其の安心法 同・明治三三年一月・第二三七號
- 福澤流の修身法 同・同年二月・第二四四號
- 内國近事(御慶事の後、福澤に金五萬圓御下賜ありたることに對して植村の感激) 同・同年五月・第二五五號
- 福澤先生を弔す 同・明治三四年二月・第二九三號
- 福澤翁と藤惺窩 同・同年同月・第二九四號
- 福澤翁仕立屋を始む 同・同年四月・第三〇三號
- また、「六合雜誌」第十三號には「福澤先生時事小言偶評」、同誌第十四號——第二十三號には「續福澤諭吉氏時事小言」を書いてもいると。(二八、八、二八) (會田倉吉)